

# ピース・レター

Peace Letter CHOFU 2018

# ちょうふ

みんなであらう平和

ちょうふ しひかくへいわ としせんげん  
調布市非核平和都市宣言

35  
しゅうねん  
周年

せかい こうきゅうへいわ じんるいきょうつう がんぼう かくへいき ほゆうこく  
世界の恒久平和は人類共通の願望である。核兵器保有国  
かん かくくんかくきょうそう げきか こんにち かくせんそう かいひ  
間で核軍拡競争が激化している今日、核戦争を回避し、  
げんすいばく おそ せかい かくりつ きんきょう じゅう  
原水爆の恐れのない世界を確立することは、緊急かつ重  
たい かたい くに せんそう せかいゆいつ かくひばく  
大な課題である。わが国は、戦争による世界唯一の核被爆  
こく へいわけんぼう せいしん かくへいき はいぜつ くんび  
国として、また平和憲法の精神からも核兵器の廃絶と軍備  
しゅくしょう すいしん せつきよくてき やくわ は  
縮小の推進に積極的な役割りを果たさなければならない。  
ちょうふ し ひかくさんげんそく かんぜんじつし ねが  
したがってわが調布市は、非核三原則の完全実施を願ひ、  
げんしやく ひかくへいわ とし せんげん  
厳肅に非核平和都市を宣言する。

しょうわ ねん がつ にち ちょうふ しぎかい  
昭和58年9月27日 調布市議会

ちょうふ しこくさいこうりゅうへいわ としせんげん  
調布市国際交流平和都市宣言

せかい くに  
世界には たくさんの国があり  
くに ひと い  
その国には それぞれに人が生きている  
あか としよ ことば ぶんか  
赤ちゃんもいれば お年寄りもいる 言葉や文化の  
ちが なかよ い おも  
違いはあっても みんな仲良く生きたいと思う  
ちょうふ ひと せかい ひと にほん ひと  
調布の人も そうでない人も 日本の人  
ひと わたし せかい  
そうでない人も いま 私たちは世界にとびたつ  
わたし せかい ひと むか  
いま 私たちは世界の人を迎える  
ちきゅう ひと い  
地球には たくさんの人が生きている  
へいわ い おも  
みんな平和に生きたいと思う  
きつとそうなる きつとできると わたし せんげん  
私たちが宣言する。

へいせい ねん がつ にち ちょうふ し  
平成2年3月23日 調布市

### げんばくてん 原爆展

8/2(木)～8/9(木) 午前10時～午後6時

ながさきし ひばくしりょう か てんじ ひばくたいけんしゃ でんしりょう  
長崎市から被爆資料をお借りして展示します。また、被爆体験者・伝承者  
による講話・ガイドを行います。夏休みの平和学習にぜひご来場ください。

【会場】文化会館たづくり2階南ギャラリー

【内容】講話／午後1時30分～2時頃 ガイド／講話終了後～午後4時  
語り部／奥卓三、河野良彦、田中健二、栢山久子、丸本規雄

【費用】無料 【協力】調布市原爆被害者の会（調友会）

【問合】文化生涯学習課 481-7139

※講話・ガイドは、実施できない場合があります。  
詳しくは市のホームページをご覧ください。



サイダー瓶



スプーン



柱時計

### ぼうさいぎょうせいむせん 防災行政無線 ～世界平和を願う黙とうにご協力を～

① 8/6(月) 午前8時15分 ② 8/9(木) 午前11時2分  
③ 8/15(水) 正午

市では、今年も防災行政無線で「黙とう」を呼びかけます。戦争で亡く  
なられた多くの方々のご冥福と、世界の恒久平和の実現を祈念するため  
にご協力をお願いします。

※緊急災害発生時等には、中止する場合があります。ご了承ください。

### へいわ 平和フェスティバル

～小さな語りの場「紅茶の時間」から大きな願いを込めて

8/4(土) 午後2時～4時15分（ハンドケアは午後1時20分から）

へいわ かた あ ぼ いしかけん じたく ねんいじょうつづ ことば  
平和について語り合う場を石川県の自宅で30年以上続け、「ほめ言葉のシャ  
ワー」などの著書をもつ講師が優しい語り口で平和について話します。市立  
第五中学校ボランティア部による踊りのほか、調布出身でドイツで活躍中  
のバイオリニスト飯吉真子ほかによるミニコンサートもお楽しみください。

【会場】西部公民館ロビー

【講師】水野スウ（「紅茶の時間」主宰者）

【出演】飯吉真子（バイオリン）、ダミアン・ヴェンテューラ（チェロ）ら6  
人による弦楽ミニコンサート「タイスの瞑想曲」（マスナー）ほか  
（第五中学校ボランティア部による踊りとハンドケアもあり）

【定員】申し込み順70人 【費用】無料

【申込 / 問合】7/6(金)午前10時から受け付け 西部公民館 484-2531



水野スウ



弦楽ミニコンサート

### なつやす へいわ けんがくかい 夏休み平和バス見学会

「親子で学ぶ平和～東京空襲や戦中の暮らしを知ろう」

8/17(金) 午前9時～午後3時

とりつよこあみちうごえんない いれいどう あつこうきんかん くだんした しよわかん けんがく  
都立横網町公園内の慰霊堂や復興記念館、九段下の昭和館を見学しま  
す。東京空襲のアニメーション、戦争中の人々の暮らしを伝える展示  
や体験学習から、戦争や平和を考えてみませんか。

【集合】午前8時50分（市役所西側道路） 【交通】市のバス

【内容】都立横網町公園と昭和館で戦争や平和を学びます。（昼食は千  
代田区役所食堂）

【対象】小・中学生と保護者

【定員】申し込み順20人

【費用】小・中学生250円、大人480円  
（交通費、入館料）、昼食代各自負担

【申込 / 問合】8/1(木) 午前9時から受け付け  
西部公民館 484-2531



昭和館体験コーナー

### へいわきねんとしよじぎょう 平和祈念図書事業

へいわきねん 「図書展」

としよかん まいとし せんそうたいけんき せんそう かん としよ てんじ かしたし  
図書館では毎年、戦争体験記や戦争に関する図書の展示と貸出をして  
います。

【日時】7/25(水)～9/24(月) 午前9時～午後8時30分

※休館日8/27(月)、28(火)

【会場】中央図書館4階・5階映画資料室・6階視聴覚資料室

【問合】中央図書館 441-6181

へいわきねん ぞくしよかい  
平和祈念「読書会」

①公開緑陰読書会

【日時】8/2(木)  
午前10時～正午

【内容】「遠い山なみの光」  
（カズオ・イシグロ著）

②公開納涼読書会

【日時】8/30(木)  
午後6時30分～8時

【内容】「タデ子の記」（「不知火おとめ-若き日の  
作品集1945-1947-」収録）（石牟礼道子著）

①②共に

【会場】文化会館たづくり9階研修室 【費用】無料

【講師】青木生子（社会教育指導員） 【定員】申し込み順45人

【申込 / 問合】図書館読書推進室、  
アカデミー愛とぴあ（文化会館たづくり10階）  
441-6328（受付時間・午前9時～午後5時）

### だい かい ちやうふ へいわ 第31回 調布平和のつどい

8/12(日) 午前10時～正午、午後1時～4時

ちやうふしひかくへいわ としせんげん きねん しみん て づくりによる へいわ イベントです。

【会場】調布駅前広場、文化会館たづくり12階大会議場

【内容】調布駅前広場 [午前10時～正午] 原爆パネル展示等

たづくり12階大会議場 [午前10時～正午] フクシマを訪ねて

DVD・調友会被爆者DVD上映等 [午後1時～4時] 調布市  
非核平和都市宣言・市長・市議会議長メッセージ朗読、被爆者  
語り（河野良彦さん）、合唱（抱きしめよう、折鶴）等

【費用】協力金500円 【主催】平和のつどい実行委員会

【問合】090-3507-9008（鈴木）

# 戦争体験映像記録

戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に語り継ぐため、戦争を体験された市民の方々のお話を映像で記録し、保存する事業を行っています。昨年は市内在住の3人の方にお話を伺いました。映像は図書館でDVDの貸出を行っているほか、市ホームページ「動画ライブラリー 調布市戦争体験 映像記録」でも視聴ができます。



# 資料が伝える市民の戦争体験

郷土博物館では、市民の戦争体験を伝える資料を大切に保存し、体験とともに展示しています。戦後70年余りの時間が経過し、戦争を体験した「語り部」の世代が少なくなっていく中で、体験を伝えるモノの重要性が増しています。

博物館の展示は、戦争体験のある世代にとっては、自分の記憶がよみがえる場であり、戦争を知らない世代にとっては、戦争の記憶を継承する場となります。市民の戦争体験を次の世代に伝えるために、博物館は、世代を越えてモノと人をつなげる役割を果たしています。

# 水木しげるさんの戦争体験

調布市名誉市民の水木しげるさんは、日本を代表する漫画家として半世紀以上にわたって活躍されました。「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめ「悪魔くん」「河童の三平」など、目には見えない存在を独特の感性で描きました。また、太平洋戦争で左腕を失うという奇烈な戦争体験を作品にし、戦死した友への慰霊と戦争の恐ろしさや悲惨さを漫画という形で発表した代表作「総員玉砕せよ!」は、未来に残したい作品として平成21(2009)年にフランスのアンブレム国際漫画祭で「遺産賞」を受賞しました。調布市は、水木さんの戦争体験と平和への思いを伝えるために展示等の事業を行ってまいります。

# 調布市国際交流平和基金

調布市では、世界の様々な文化への理解を深め、多文化共生の地域社会づくりを推進するための国際交流事業並びに恒久平和の維持及び発展のための平和事業を、円滑かつ効率的に推進する資金に充てるため、調布市国際交流平和基金を設置しています。

【寄附のお願い】調布市の国際交流事業や平和事業のために、寄附のご協力を頂ける場合は、調布市文化生涯学習課(481-7139)にご連絡ください。

## 永野昌作さん / 「農家の長男として生まれて！」(18分52秒)



戦時中、農家の長男として生まれ、農家を継いだ昌作さん。当時の主な作物は芋。芋が戦時中の食料を支え、ガソリン不足まで補ったなど興味あるお話をしてくれました。東京を襲ったB-29爆撃機にまつわる話も…。(終戦当時18歳)

## 嶋崎美代子さん / 「学徒動員で経験したこと」(12分11秒)



戦争が始まったのは小学生、B-29が東京を襲うころ、高等女学校に通うように。学校ではなく軍需工場に通い、そこで見たものは…。終戦後、激変した学校生活を話してくれました。(終戦当時16歳)

## 河野良彦さん / 「私の被曝体験と核爆弾の恐ろしさ！」(20分41秒)



戦争にどうして憧れたのか？士官候補として優遇されたひろしま、りくくんが幼少時代に、広島で核爆弾の恐ろしさ！戦火の中で戦争を拒否すらもできなかった時代。戦争とは何かを語ってくれました。(終戦当時14歳)

# 調布市平和都市宣言パネル

「調布市非核平和都市宣言」、「調布市民憲章」及び「調布市国際交流平和都市宣言」を記載したパネルを市役所前庭に設置しました。



# 歴史

## 調布と戦争

大正2年(1913)に京王電気軌道(現在の京王電鉄)が開通すると、調布市域は行楽地・郊外住宅地として注目されるようになり。そして、大正12年(1923)の関東大震災をきっかけに多くの人々が移り住み、昭和初期には丸源製鋸所や和光堂などの工場も進出しました。日中戦争の拡大とともに軍需産業の色彩が濃くなると、昭和14年(1939)には、陸軍の兵器を製造する東京重機製造工業組合の工場が建設されました。

昭和16年(1941)4月には、東京府下の北多摩郡調布町・三鷹町・多磨村にわたる地域に、羽田に次ぐ東京の空の玄関として東京調布飛行場が完成しましたが、同年8月に東京府と陸軍の協定により、首都防衛のための軍用飛行場となりました。

昭和16年7月、防空専任の陸軍航空部隊が新編され、東部軍司令官の指揮下の第17飛行団の司令部が調布に置かれました。調布飛行場は、東部軍の根拠飛行場と位置づけられ、東部軍作戦室に集められた情報をもとに、浜松以東の東日本の戦闘指揮が、調布作戦室を通じて行



戦闘機「飛燕」(昭和10年代)



調布飛行場で特攻隊機を見送る兵士(昭和10年代)

われました。同年9月、陸軍の飛行第144戦隊(11月、第244戦隊に改称)が調布に移駐し、周辺に配置された高射砲連隊とともに、京浜地区の要地及び政・戦略中枢の防衛に当たりました。

昭和19年(1944)11月、米軍のB-29爆撃機によって東京が空襲されると、防空任務達成のため、敵機に体当たり攻撃する特別攻撃隊が調布飛行場で編成されました。一方では、本土防衛の戦力を確保するために、戦闘機を空襲から守るための掩体壕が調布飛行場に作られました。現在、飛行場に隣接する都立武蔵野の森公園内に掩体壕が保存され、当時を語る存在となっています。

東京大空襲 原作・高木敏子 (金の星社刊)

# ガラスのうさぎ



調布市非核平和都市宣言  
35周年記念

調布市平和祈念事業  
映画上映会

英語字幕あり

監督・橋祐典 + 脚本・立原りゆう : 1979年製作  
上映時間1時間45分

## 2018年8月4日(土)

場所：調布市文化会館たづくり2階  
くすのきホール(定員500名)

上映：10：30(1回目) / 14：00(2回目) / 18：30(3回目) ※開場は上映30分前

チケット：小中高生300円(前売り・当日共)  
一般500円(当日700円) \* 介助者は無料

午後の部上映後(16:00~)記念講演  
早乙女勝元 作家 / 東京大空襲・戦災資料センター館長

● 発売場所：グリーンホールチケットサービス  
たづくり1Fインフォメーション  
※上記販売場所での電話予約はできません。窓口販売のみです

● 問い合わせ先 庄司 090-9011-6775

● キャスト・長門裕之・長山藍子・蛭名由起子・大和田獏・佐久田修・日色ともゑ・夏桂子  
・木村理恵・荒木道子・今井和子・岩本多代・三崎千恵子・花澤徳衛・福田豊土  
・藤原釜足・前田武彦・南田洋子・ハナ肇

主催：映画「ガラスのうさぎ」上映実行委員会 共催：調布市 協賛：NPO法人調布まちづくりの会 後援：調布市教育委員会、  
(公財)調布市文化・コミュニティ振興財団、調布市社会福祉協議会、生涯学習団体 アカデミー愛とびあ、調布市国際交流協会